

2016年

10月6日(木)～8日(土)

報恩講

真宗大谷派 富山別院(東別院)

10月6日(木)

- 14時 初逮夜【音楽法要】
- 15時 法話
- 16時 御伝鈔上卷拝読
- 17時 終了

10月7日(金)

- 7時 初晨朝
- 7時45分 法話
- 10時 初日中
- 11時 法話
- 12時 お齋
- 13時30分 結願逮夜
- 14時50分 法話
- 15時30分 帰敬式
- 16時30分 終了

10月8日(土)

- 7時 結願晨朝
- 7時45分 法話
- 10時 結願日中
- 11時20分 鍵役挨拶
- 法話
- 12時 終了

報恩講 法話のご案内

講師 ^{さ か ど ひろむ} 沙加戸 弘 氏 (大谷大学名誉教授)

講題 真宗開顕 ^{まれ さいど うきぎ あ} 一希に西土仏教の查に遇えり—



プロフィール
1946 (昭和19) 年滋賀県に生まれる。
大谷大学大学院文学研究科仏教文化専攻に学ぶ。大谷大学教授を経て、現在は同大学名誉教授、博士 (文学)。

講師からのメッセージ

高い山の上で、あるいは厳しく囲われた堀の中で、身分の高い男に独占されていた仏教を、我々のところへ運んで下されたは法然上人であります。法然上人に出遇われ、本願念仏の教えに帰された親鸞聖人は、その教えを生活のかたちにして下されました。その経緯を、今回あらためて皆様方と共にたしかめたいと思います。

6日 16:00 『^{ご でんしょう}御伝鈔』上巻拝読

御伝鈔とは、正式に『本願寺聖人伝絵 (ほんがんにしょうにんでんね)』といい、親鸞聖人の伝記として第3代覚如 (かくにょ) 上人が撰述された絵巻物です。

覚如上人は、1295 (永仁3) 年、26歳の時に十三段からなる『御伝鈔』の初稿本を著されました。その後1343 (康永2) 年、74歳の時に増補して十五段 (上巻八段、下巻七段) とされました。

『御伝鈔』の上巻には、親鸞聖人の求道の歩みが語られており、殊に法然上人との出会いをとおして、念仏の僧伽 (さんが) を吉水で学ばれたことが述べられています。

是非とも、ご拝聴のほど宜しく願います。

7日 帰敬式 (おかみそり)

真宗門徒として帰敬式を受け、法名をいただきます。

「帰敬式」の意味ですが、一般に「おかみそり」という名で親しまれてきた儀式です。古来より剃度の式、それが「おかみそり」と言われてきたわけです。(中略)

しかしその「おかみそり」を受けて法名をいただくのは、亡くなってからと思われがちですが、本来、帰敬式は、仏陀の弟子となるという儀式、つまり自分は仏陀の教えを道として生きるものとなります、という決断の儀式ですから、亡くなってからではありません。亡くなってから法名をいただくのではなくて、生きているいま、生きているからこそその儀式です。人間としての生き方を仏陀の教えに問い学んでいこうとする出発式、それが帰敬式です。

『帰敬式を受ける 親鸞聖人の僧伽に帰敬す』池田勇諦
東本願寺伝道ブックス63

受式御希望の方は、お手次のお寺をとおして
9月12日まで別院宛にお申し込みください。

児連バザー

教区児童教化連盟 (児連) 主催により、バザーを開催いたします。
日用品・書籍・おもちゃ・カバンなどいろいろなものがございまして、是非のぞいてみてください。

開催日時 / 10月6日 (正午から午後4時まで)
7日 (午前10時から午後4時まで)
8日 (午前10時から午後1時まで)

場所 / 本堂前

